

カビの問題解決事例

(情報提供 株式会社エプロ)

【1】 洗浄室や調理施設のカビ

発生原因

食品の洗浄室や調理室は常時水を扱う事により、湯気が壁や天井に充満します。また調理による室温の上昇はカビの増殖に格好の要因となっています。

解決方法

防カビ塗装

- ①現在出ているカビをカビサール(次亜塩素)や JUJU(強アルカリ水)で殺菌除去します
⇒噴霧又は塗布(30～50g/m²)の後、濡れ雑巾で拭き取る。
- ②上記乾燥後、インナーミル 550 を水で 10 倍に希釈して塗布する。使用量は 50g/m²
- ③水性塗料で仕上げ塗装をする。
⇒水性塗料にその重量の 2%に当たるインナーミル 550 を混入し、攪拌機で 5 分以上良く攪拌して塗装仕上げを行う。

【2】 スーパー店舗の壁・天井のカビ

発生原因

食品用の冷蔵ショーケースなどによって、店舗内下部の空気が冷やされ、暖房による上部の暖気との温度差で天井に結露が発生し、カビが増殖します。

解決方法

防カビ塗装

- ①現在出ているカビをカビサール(次亜塩素)や JUJU(強アルカリ水)で殺菌除去します
⇒噴霧又は塗布(30～50g/m²)の後、濡れ雑巾で拭き取る。
- ②上記乾燥後、インナーミル 550 を水で 10 倍に希釈して塗布する。使用量は 50g/m²
- ③断熱塗料ガイナで仕上げ塗装をする。
⇒ガイナにその重量の 2%に当たるインナーミル 550 を混入し攪拌機で5分以上良く攪拌して塗装仕上げを行う。
※断熱塗料は通常の塗料の数倍は結露の発生を抑えます。

【3】 業務エアコン、ドレンパンのカビ

発生原因

エアコンは熱交換(エバポレーター)やフィルターの部分に常時空気の流れが有り、そこで集塵された汚れや有機物が発生する結露と共にカビ環境を作っています。

解決方法

除菌及び防カビコーティング

- ①エアコンを分解して洗浄清掃を行います。
- ②送風して良く乾燥させます。
- ③熱交換(エバポレーター)やフィルター部分にスーパーミル 88 を良く噴霧し再び送風して乾燥させます。
- ④ドレンパン(樹脂)の部分は清掃後、ストップ THE カビを刷毛やローラーで塗布します。

【4】 冷凍倉庫の壁や天井のカビ

発生原因

冷凍庫内の冷気が出入り口から吐き出された際に、庫外の暖気と触れ合って天井部分を中心に結露が生じ、カビが発生します。

解決方法

結露防止防カビ塗装

- ①現在出ているカビをカビサール(次亜塩素)や JUJU(強アルカリ水)で殺菌除去します
⇒噴霧又は塗布(30～50g/㎡)の後、濡れ雑巾で拭き取ります。
- ②上記乾燥後、シスタノン結露で防カビ塗装仕上げを行います。
シスタノン結露下塗り剤 2度塗りをする。
シスタノン結露上塗り剤 インナーミル 550 を2～3%混入して3度塗りをする。

【5】 ユニットバスの壁・天井のカビ

発生原因

風呂場内部(壁・天井)に発生する結露(湯気)や、表面への有機物の堆積(アカや石鹸カス)などで、カビが発生します。

解決方法

防カビコーティング

- ①現在出ているカビをカビサール(次亜塩素)や JUJU(強アルカリ水)で殺菌除去します

⇒噴霧又は塗布(30～50g/m²)の後、濡れ雑巾で拭き取ります。

②防カビコーティング剤(透明)ストップ THE カビを塗布します。80～100g/m²

【6】畳・壁紙(クロス)のカビ

発生原因:畳の場合

畳部屋が梅雨時などにカビの発生する原因は、部屋の通気性(換気)の悪い場合がほとんどです⇒梅雨時の空気中の温度(25度以上)と湿度(85%以上)で換気が滞った畳表面に、軽微な結露が生じてカビが発生します。

解決方法

防カビコーティング

- ①畳表面をきれいに清掃します。
- ②FラップCを固めのスポンジを使い、ワックス掛けの要領で円を描く様に表面に刷り込み・乾燥させます。40～50g/畳

発生原因:クロス(壁紙)の場合

梅雨(高温・多湿)時に部屋内の通気性(換気)の悪い壁面に、軽い結露の発生と共にカビの繁殖が起きます。また外壁に面する内壁は、冬場の温度差から生ずる結露によってカビの発生する場合があります。

解決方法

防カビコーティング

- ①クロス表面をきれいに清掃します。
- ②FラップCをコテ刷毛、ローラーなどで表面に施します。40～50g/m²

【7】床下のカビ

発生原因

漏水事故後の床下や地下ピット、空気の対流の滞った縁の下の地表面などは、梅雨時の高温・多湿によりカビが発生します。

解決方法

防カビ剤散布

インナーミル 550 を 50～80 倍に水で希釈して対象表面に噴霧します。

【8】屋根・外壁のカビや藻

発生原因

周りを森林などで囲まれた立地は藻類の浮遊濃度も高く、ちょっとした湿度と光を得る事で、屋根や外壁表面に藻が繁殖します。またカビは時に藻と共存状態になり、藻の死骸などを餌にして更に繁殖を伸ばします。

解決方法

防カビ塗装

- ①既存の屋根や壁面に出ている藻やカビをカビサール(次亜塩素)やJUJU(強アルカリ水)で殺菌除去します
⇒噴霧又は塗布(30～50g/m²)の後、高圧洗浄などを掛けて除去します。
- ②屋根は屋根用、壁は壁用の水性塗料を選定し、その重さの 2～3%のインナーミル550 を混入して仕上げ塗装を行います。

【追記】

カビの発生を防止する為には次の三つの考え方があります。

塗料で

- ①上塗り塗料に「防カビ剤インナーミル」を混入してカビの発生を防止する

コーティング剤で

- ②塗装済の壁などやコンクリート、木材、壁などに防カビ剤インナーミル混入済のコーティング剤「ストップTHEカビ」を塗布する

プライマーで

- ③塗料などの塗装する際のプライマーとしてミツチャクロンにインナーミル混入済の「防カビ万能選手」を塗布する